

きらい

清瀬で生きる女性に
インタビュー

仲間と困難を 乗り越えた時の 喜びが パワーの源

ケアパレット清瀬 会長
間宮奈保子 さん



生活できないのが現状です。そのため労働条件の見直しなど社会制度を変えるために行政への働きかけも行っています。また、ヘルパーさんの職業能力を上げ、社会的な地位向上(評価)につなげたいと思っていますので、研修にも力を入れています。

将来の夢

老後介護を受ける側の立場になったとき、安心して過ごせる居場所、仕組みを作り、誰でも交流できる場所を仲間たちと一緒に清瀬で作りたい。「誰かのために、いつまでも生きがいを持って」それが夢です。

介護職との出会い

30歳代の時、老後の事を考えるようになりました。というシルバライフを迎えたいか。誰かを介護をするようになった時に、何も分らないことが不安で。そこで清瀬市社会福祉協議会が実施している会員相互の家事などの有償サービス事業「ふれんどサービス」に登録し、家事の手伝いをはじめました。それは喜ばれ感謝されて、人生の大先輩の話を聞けて収入にも繋がる。介護の仕事との出会いでした。その後、介護に関する様々な資格を勉強して

取得し、民間介護企業での勤務を経て、自分が生きていく清瀬をより住みやすい所にしたいと介護事業所を立ち上げました。

事業者としての苦労と

大切にしていること

収入が安定しません。利用者さんがいなければ、収入もない。けれども出費は変わらないため、運営していくのが難しい。人材不足も問題です。利用者さんは土日も介護を必要としているのにヘルパーさんがいなくて、カバーするのに苦労しま

す。利用者さんの家族関係や経験を伺い、自分たちの考えに縛られず、ケースバイケースで対応する指導をしています。利用者さんの求めていることを聞いて一緒に考えることが大切です。

介護職が抱える問題点、改善点

介護は女性がするのが当然という意識があり、専門性が理解されておらず、加えて不定収入のため給料が低い。介護職の大多数は非正規雇用です。事業所を掛け持ちしないと

寝起きを共にすることが出来ました。

共に暮らすなかでからゆきさんの成り立ちや心境を聞き、それを本として出版したのです。村人からの嫌がらせなどを私は予想しましたが、元からゆき

【シンポジウム】

清瀬市議会議員が語るシンポジウム
〜どう広げるか男女平等推進条例と
子どものためのガイドブック〜
コーディネーター…名取はにわさん
(NPO法人日本BPW連合会理事長)

元内閣府男女共同参画局長

まず名取さんから、国際的な見地から日本女性の教育について、どのような位置にあるかのお話がありました。そして清瀬市男女平等推進条例、新しく作成された「子どものためのガイドブック」に基づき、出席された13名の各市議会議員から清瀬市の子どもの将来に向かっての取り組みが話されました。また、子どもたちに分かりやすく理解してもらえ、具体的な提案や、参加者からの活発な質疑応答もありました。

会場からの発言も含め、子どもに対する思いはみな同じであり、日頃それぞれの立場で男女共同参画について語り合っていくことの大切さが確認されました。

(表紙の写真 7/8)

【映画】おじさんと草原の小学校

何度も門前払いを受けながらも文字を読みたい一心で、女性校長の力で84歳で小学校に入ったマルゲ。彼は幼い級友、教師との交流を続けその情熱は政府までも動かしていく。「土に埋められるまで勉強はできる」感動的な言葉でした。

(表紙の写真 13)

【音楽】民族音楽の調べ

〜アンデスの音色に魅せられて〜
コラソン・デ・まつぼっくりさんによる、アンデスの民族音楽フォルクローレのコンサート。豊かな音色に、会場からは何度も拍手が沸き起こっていました。

(表紙の写真 6)

入り口を入ると、各団体の展示がズラリと並び、バザーでは手づくりの品や、皆様から提供された品々が並び大盛況でした。

(表紙の写真 2/9)

からの日本にとって、とても大切なテーマだと思うよ」という言葉に励まされました。

そのような経験から日本とその周りの国々との関係は、どうなんだろうという疑問が生まれました。

その頃、知り合った今の夫の「これ



『サンダカン八番娼館』から41年〜
講師…山崎朋子さん(女性史研究者)

アイレックまつり二日目の午後、会場には130人以上の人が集まりました。その多くは年長の女性でした。1995年の第1回アイレックまつり以来2度目の山崎さんの講演です。

職業軍人の父親が行方不明になり非国民として扱われた経験、その後、結婚した相手が朝鮮人だったため、人間扱いされなかったなどの差別を受けま

実際にからゆきさんに会いたいと思

思って天草を訪問。1968年に3週間、元からゆきさんのおばあちゃんと

【子育て応援企画】みんなのしゃべり場 子育てから出逢い・語り・つながる場

ファシリテーター…村上誠さん
(NPO法人ファザリングジャパン)

子どもを取り巻く環境が激変し、地域とのつながりが希薄になっている現在。今一度つなぎ直そうと語る村上さん。講座では育児や夫婦の悩みに耳を傾け、グループワークでは多世代で話す姿に地域のつながりの縮図が見えました。バルー

優しい語り口の中に、強い信念と女性への温かい愛情を感じる講演でした。(表紙の写真 3/4/5)



(筑紫)

ンアートの犬や花に子ども達も大喜び。笑顔の輪が広がりました。

(表紙の写真 1/10/11/12)

(河原)

【展示・バザー】

入

(表紙の写真 2/9)